

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年1月22日作成)

小委員会名	建築音響測定法小委員会		主査名：會田祐 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)		委員長名：大岡龍三 主査名：池上雅之
設置期間	2023年4月 ～ 2027年3月		
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築音響に関する測定方法について調査および検討を行うことを目的とする。</p> <p>初年度：実験および数値解析を通じた、各種測定方法による低音域の室内音場評価の比較検討を行う。</p> <p>2年度：低音域の室内音場を対象とした音響エネルギー測定評価手法の提案と適用事例の整備を行う。また、音響数値解析への利用を想定した基礎測定データの整備について検討する。</p> <p>3年度：建築音響測定の課題解決に向けた新たな取り組みに関する議論および検討を行う。</p> <p>4年度：成果のとりまとめを実施し、成果を公表する。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：會田祐(長谷工技研) 幹事：杉江聡(小林理学研究所)、竹林健一(鹿島建設技研) 委員：石塚崇(清水建設技研)、小田智弘(大林組技研)、古賀貴士(鹿島建設技研)、小林秀彰(三井住友建設技研)、酒巻文彰(永田音響設計)、阪本一生(奥村組技研)、坂本慎一(東京大学生産技研)、富来礼次(大分大学)、平川侑(国土技術政策総合研究所)、平光厚雄(建築研究所)、山内崇(戸田建設技研)</p>		
設置WG (WG名：目的)			
2023年度予算	55,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：	

項目	自己評価
委員会開催数	6回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 低音域室内音場の測定方法に関する前年度実験結果について分析を行い、新たな測定法の提案に向けての整理と議論を行った。</p> <p>2. 実験結果について大会および国際会議で発表を行うことで、活動成果の公表を行った。</p>
委員会活動の問題点・課題	特になし

- *小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- *中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2023年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p><u>1. 低音域室内音場の測定方法に関する実験結果の分析と測定法の提案</u> 低音域室内音場の測定方法に関する前年度実験結果について分析を進めることで、各種測定法による精度について知見を得た。得られた知見に基づき、音響エネルギー密度を用いた新たな測定法の提案に向けて、理論的検討や適用方法などの整理を行った。これらの結果について小委内で議論を行い、次なる検討項目を抽出した。</p> <p><u>2. 活動成果の公表</u> 実験および理論的検討結果について、大会および国際会議（Inter-Noise 2023）などで発表を行うことにより、活動成果の公表を行った。</p>

- 総合評価は4段階（A>B>C>D）にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。